

修学旅行

2月6日（火）から9日（金）までの日程で、スキー修学旅行が行われました。

初日は午前7時に串本を出発し、名古屋経由で、目的地の長野県高峰高原に向かいました。途中、諏訪大社（すわたいしゃ）を訪問しました。諏訪大社は、長野県の諏訪湖の周辺に4箇所のお宮をもつ神社で、歴史は大変古く、古事記には、出雲を舞台に国譲りに反対して諏訪まで来て国を築いたとあり、日本書紀には、持統天皇が勅使を派遣したと書かれています。ここは、日本最大のパワースポットののひとつと言われています。あまり時間はとれませんでしたでしたが、それでも熱心に、お願いをしている人が何人かいました。

翌7日から、スキーとスノーボードに分かれての講習が始まりました。いずれも初めての人がほとんどでしたが、インストラクターの指導のおかげで、最終的には生徒たちは、それなりに滑ることができるようになりました。また、8日夜にはレクリエーション大会を行い、楽しく盛り上がりました。その他にも、雪上車体験、天体観測、フォトフレームの制作など、スキー以外にも、いろいろ楽しむことができました。



感想文を見ても、好評だったようです。以下は感想文の一部です。●雪国に旅行したことがない上、スキーも人生初めてだったので、とてもよい経験になった。スキーという winter sports の楽しさもわかったので、またプライベートでスキーをしたいと思った。●スキーも中級滑れて良かった。めっちゃ楽しかったです!!! バスの中も本当に楽しかった。パーキングエリアでもっと買い物したかった。名物とか食べたかった。レクも楽しかったです。●スキーが楽しかった。寒かった。ホテルの部屋で友達と遊んだり、めっちゃ楽しかった。行ってよかったと思えた。諏訪大社とか大きな神社へ行ったことがなかったので、すごかった。●初めてスキーをしたけど、できるようになって楽しかったです。●ポテチの袋が（スキー場の標高が高いので）パンパンでおもしろかった。2000メートルってすごいとわかった。●普通に楽しかったけど、一瞬やった。●添乗員さんとインストラクターさんがいい人過ぎて、僕たちは運がよかった。正直あと一日滑りたいくらいだった。ホテルはびみょうだったけど、スキー場は素晴らしかった。また行きたいと思う。全員無事に行き帰れたことが、一番よかった。●ホテルの部屋がクラスに関係なく自分たちで決めることができよかったです。スキーはこういう機会がないとなかなか自分から行くことはないの、よい経験になったと思いました。スキーの中級コースを、もう少し滑りたかったです。●スキー・スノボは始めはあんまりやったけど、みんなでしたら、何でも楽しくなるものだと感じた。せっかく長野まで行ったけど、普段家で食べれるような食事だったから、名産物など、食べてみたかった。レクは盛り上がり、楽しかった。インフルエンザが心配だった。何やかやであつという間に時間が過ぎて、もうちょっとみんなでワイワイできたらいいと思った。



滞在中、2年生はマナー・ルールを守り、互いに協力して規律ある団体行動をとることができたと思います。その団結力を、次のどこかで発揮してくれることを期待しています。

ところで、我々はすべて予定どおりに日程をこなすことができましたが、実はこの時期には大寒波がやってきており、北陸自動車道は通行止めになるなど、日本海側は大変な状況になっていました。無事に旅行を終えることができ、本当によかったです。

学校運営協議会

2月16日（金）に、本校にて第2回学校運営協議会が開催されました。

会では、最初に校長先生より、本年度の取り組みと来年度の学校運営基本方針の説明がありました。続いての質疑応答では、グラウンド改修の件、来年度のクラス編成の見通し、計画中の公営塾について、進学指導の教科についてなどの話があり、担当より説明を行うとともに、意見交換を行いました。中で、「商工会指導員のなり手がなくて困っている」という話があり、本校の進路指導担当とつないでいこうということになりました。

前回と同じく今回も、多くの地域に根ざしたご意見を聞くことができました。お集まりいただいた委員の皆様、ありがとうございました。

地域とともにある学校づくり講演会

学校運営協議会の後、会主催で「地域と共にある学校づくり」講演会が行われました。

講師は、岐阜県美濃加茂市教育委員会教育長の日比野安平先生にお願いしました。先生は昭和49年3月に大学を修了後、岐阜県立郡上高等学校を振り出しに岐阜県内の県立学校で勤務、平成18年からは岐阜県先端科学技術体験センター館長、平成23年より現職で勤務されています。

講演では、教諭、教頭、校長、行政職と、先生が勤められたそれぞれの時代に、地域と密着して様々な教育活動に取り組んできた、具体的な事例を数多くお話いただきました。会には本校教職員、運営協議会のメンバーだけでなく、中学校の先生方や県・町教委担当者まで多くの方々に参加していただきましたが、みんなが満足できるものであったと思います。

講演をいただいた日比野先生、どうもありがとうございました。



3年選挙学習

2月19日（月）に、和歌山県及び串本町選挙管理委員会の担当者を招いて、3年生を対象として実施しました。前半20分は選挙についての講話、後半は長谷川先生と濱仲先生を候補者に見立て、投票から開票までの流れを体験しました。

講話では、選挙の説明から、選挙権の歴史や、若い人の投票率などについて話がありました。生徒の中には堅苦しく考えていて、選挙は正装をしていかななくてはならないとか、投票に30分くらいかかると思っていた人もいたようです。選挙のイロハを教えていただくことで、正しい知識を身につけることができました。後半は、立ち会い演説会から投票、集計の一連の流れを体験しました。投票用紙は、破れにくくて書きやすい特別の紙を使用しているそうですが、実際に投票用紙を扱うことで、そんなことも実感することができました。

お忙しい中お越しいただいた和歌山県・串本町選挙管理委員会の担当者の皆様、ありがとうございました。

